
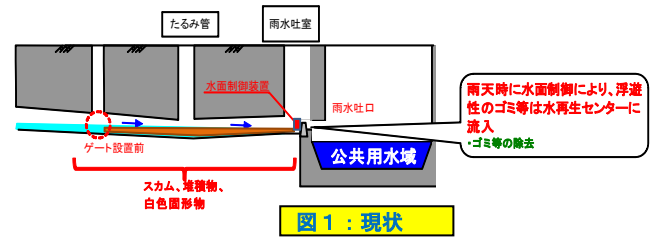
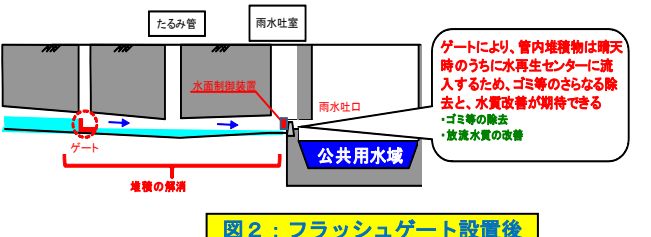


平成26年3月28日：平成25年度第五回技術管理委員会議題

○共同研究の終了評価

<p>研究テーマ名</p>	<p>下水道管路自動洗浄装置(フラッシュゲート)と水面制御装置による合流改善効果に関する共同研究</p>	
<p>研究形態</p>	<p>ノウハウ+フィールド[®]提供型共同研究</p>	
<p>事業者</p>	<p>東京都下水道サービス(株)、日本工営(株)、管清工業(株)</p>	
<p>所管部署</p>	<p>計画調整部 技術開発課</p>	
<p>研究期間</p>	<p>平成23年12月 日～平成25年11月29日</p>	
<p>研究目的・特徴</p>	<p>(研究目的) 既存開発技術である「水面制御装置(夾雑物対策で開発)」と「フラッシュゲート(伏越しスカム対策で開発)」とを組み合わせることで、管きょ不具合部(たるみ部、逆勾配部等)における雨水吐口からの汚濁負荷量(ファーストフラッシュ)を低減させ、管きょ不具合部の堆積汚濁物除去・低減効果、雨天時越流水対策(合流改善)効果を図ることを目的とする。</p> <p>【概要図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="427 741 687 1010">  <p>【フラッシュゲート】</p> </div> <div data-bbox="758 683 1412 918">  <p>図1：現状</p> </div> <div data-bbox="758 952 1412 1187">  <p>図2：フラッシュゲート設置後</p> </div> </div>	
<p>研究目標</p>	<p>【目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 管きょ不具合部の堆積汚濁物除去・低減効果 (晴天時に管きょ不具合部における堆積汚濁物がフラッシュゲートの掃流力により低減すること。) 雨天時越流水対策(合流改善)効果 (雨天時に水面制御装置からの越流汚濁負荷量のうち、ファーストフラッシュにおける負荷量(濁度)がフラッシュゲート設置前後で低減が確認できること。) <p>【条件】</p> <p>管きょ内径600mm～700mm程度で円形人孔内径90cm以上の人孔に設置する。</p>	<p>【結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 管きょ不具合部へのフラッシュゲート設置による堆積汚濁物除去・低減率93%以上を確認した。また、フラッシュゲートを連続して約5ヶ月間稼働させた結果、安定的に正常動作することも確認した。 雨天時越流水の簡易採水器による採取と濁度計による計測により、越流水の変化からフラッシュゲートと水面制御装置の組み合わせによる合流改善効果の確認を行ったが、降雨と濁度が相関するデータが得られず、効果の確認はできなかった。しかし、研究目標1で堆積汚濁物除去・低減効果は確認されたことから、フラッシュゲート単体による一定の合流改善効果は見込める。
<p>研究結果</p>	<p>本研究でフラッシュゲートによる堆積物の掃流効果を確認した。このことから、フラッシュゲート単体による一定の合流改善効果は見込める。</p>	
<p>備考</p>	<p></p>	